

# みずほオセアニア債券ファンド

## <愛称：コアプラス>

追加型投信／海外／債券

### 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「みずほオセアニア債券ファンド」は、2019年3月20日に第90期の決算を行いました。当ファンドは、オーストラリアおよびニュージーランドの公社債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年9月21日～2019年3月20日

第85期	決算日：2018年10月22日
第86期	決算日：2018年11月20日
第87期	決算日：2018年12月20日
第88期	決算日：2019年1月21日
第89期	決算日：2019年2月20日
第90期	決算日：2019年3月20日

第90期末 (2019年3月20日)	基準価額	6,637円
	純資産総額	1,455百万円
第85期～ 第90期	騰落率	0.7%
	分配金合計	180円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。  
(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

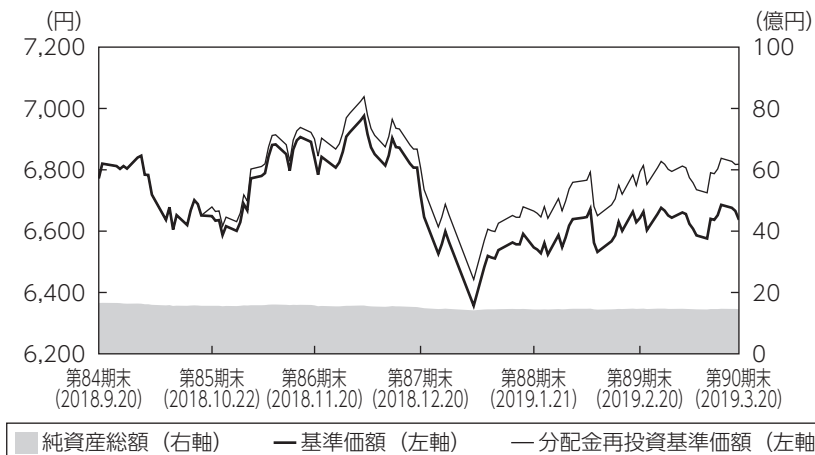
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第85期首： 6,772円  
 第90期末： 6,637円  
 (既払分配金180円)  
 騰落率： 0.7%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

オセアニア公社債マザーファンド受益証券への投資を通じて、オーストラリアおよびニュージーランドの公社債に投資を行った結果、オーストラリア、ニュージーランドで債券利回りが低下（債券価格が上昇）したことや、ニュージーランドドルが対円で上昇したことなどから、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

## 1 万口当たりの費用明細

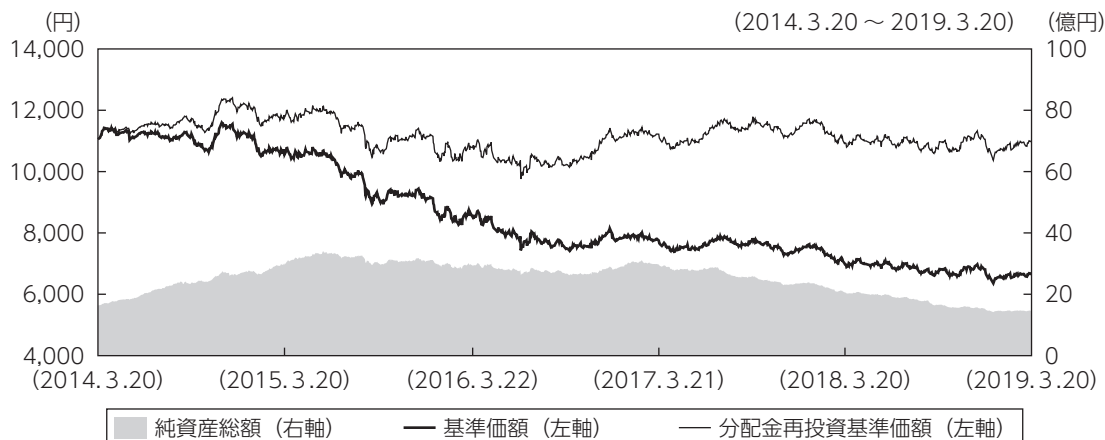
項目	第85期～第90期		項目の概要
	(2018年9月21日 ～2019年3月20日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	40円	0.589%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6,708円です。
(投信会社)	(16)	(0.241)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(22)	(0.321)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	1	0.018	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 1)	(0.016)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	( 0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	41	0.607	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2014年3月20日の基準価額に合わせて指数化しています。

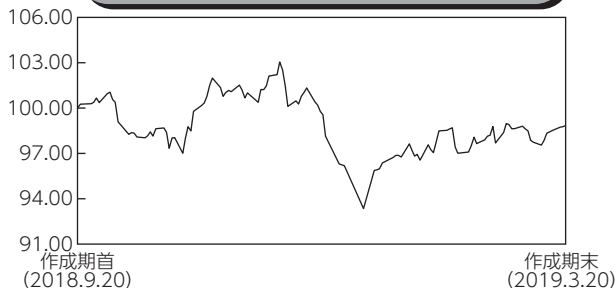
		2014年3月20日 期首	2015年3月20日 決算日	2016年3月22日 決算日	2017年3月21日 決算日	2018年3月20日 決算日	2019年3月20日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	11,057	10,566	8,515	7,751	6,976	6,637
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	1,200	1,200	1,050	600	360
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	6.5	△8.4	4.1	△2.5	0.3
参考指数の騰落率	(%)	—	4.3	△6.5	4.7	△4.7	△0.2
純資産総額	(百万円)	1,634	2,963	2,930	2,967	2,053	1,455

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はF T S E世界国債1-3年インデックス (オーストラリア) (円ベース) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。
- (注2) 参考指数は、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いております。

## 投資環境

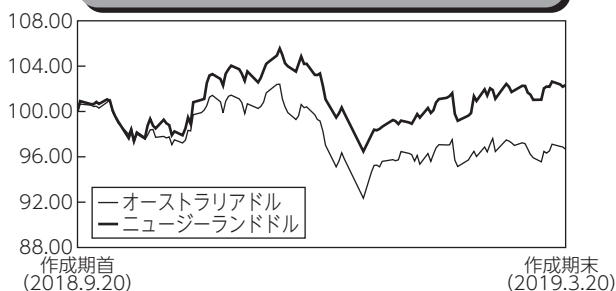
### ● 海外債券市場と為替市場

F T S E世界国債1-3年インデックス  
(オーストラリア) (円ベース) の推移



(注) 値は前営業日のものを採用し、作成期首を100として指数化しています。

対円為替レートの推移



(注) 作成期首をそれぞれ100として指数化しています。

オーストラリアの3年国債利回り、ニュージーランドの国債利回り(2021年5月15日償還の国債の利回り)はともに低下(債券価格は上昇)しました。オーストラリアでは、米中貿易摩擦への懸念やオーストラリアの住宅市場の軟調推移を受けて景気減速に対する懸念が高まったことや、世界的な株価の下落など市場のリスク回避姿勢が高まったこと、豪州準備銀行(RBA)のロウ総裁が今後の利下げの可能性に言及したことなどを背景に利回りは低下基調で推移し、前作成期末対比で利回りは低下しました。

ニュージーランドでは、作成期初から11月上旬にかけては消費者物価や雇用統計といった経済指標が堅調な内容となったことを受けて利回りは上昇したものの、その後は米中貿易摩擦への懸念が高まったことや、市場のリスク回避姿勢が高まったこと、ニュージーランド準備銀行(RBNZ)が利上げ予想時期を先送りしたことなどを背景に利回りは低下基調に転じ、前作成期末対比で利回りは低下しました。

為替市場では、豪ドルは対円で下落し、ニュージーランドドルは対円で上昇しました。豪ドルは世界的な株価の下落など市場のリスク回避姿勢が高まったことや、RBA総裁が利下げの可能性に言及したことを背景に前作成期末対比では対円で下落しました。ニュージーランドドルは市場のリスク回避姿勢の高まりが下落要因となったものの、消費者物価や雇用統計など良好な経済指標が上昇要因となり、前作成期末対比では対円で上昇しました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

オセアニア公社債マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持しました。

### ●オセアニア公社債マザーファンド

前期の運用報告書に記載した「今後の運用方針」に基づき運用しました。ファンド全体のデュレーションは、1年から3年程度の中で長めを維持しました。組入債券の債券種別組入比率は、国債比率を約10%とし、州債などの非国債の比率を約90%とする構成を維持しました。組入債券の通貨別組入比率は、豪ドル建て資産の比率を約60%、ニュージーランドドル建て資産の比率を約40%とする構成を維持しました。債券の組入比率は高位を維持しました。為替ヘッジは行いませんでした。

上記の通り運用を行った結果、基準価額は上昇しました。主な変動要因は下記の通りです。

(主な上昇要因)

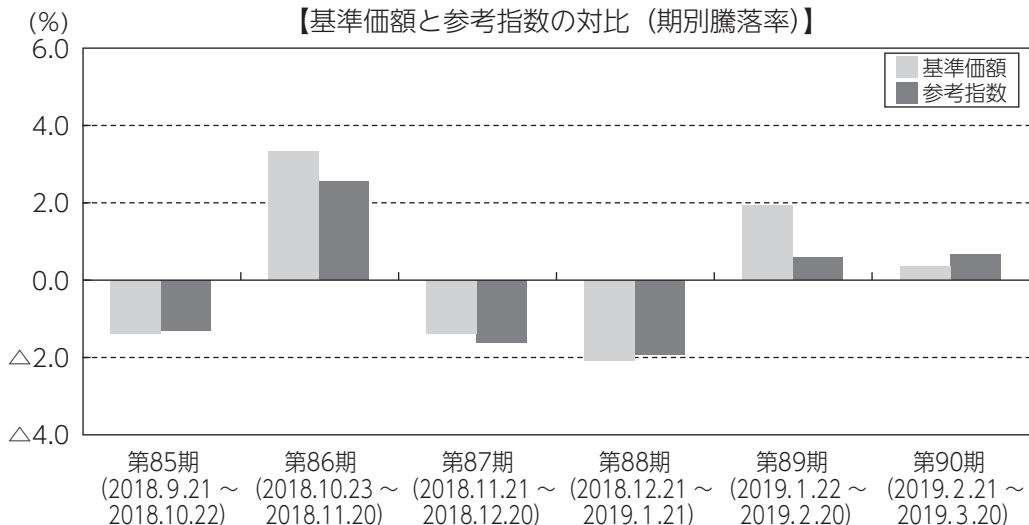
- ・保有債券の利息収入。
- ・オーストラリア、ニュージーランドの債券価格が上昇（利回りは低下）したこと。
- ・ニュージーランドドルが対円で上昇したこと。

(主な下落要因)

- ・オーストラリアドルが対円で下落したこと。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額（分配金再投資ベース）と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## 分配金

当作成期の収益分配金は、安定した収益分配を継続的に行うことを目指し、配当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
	2018年9月21日 ~2018年10月22日	2018年10月23日 ~2018年11月20日	2018年11月21日 ~2018年12月20日	2018年12月21日 ~2019年1月21日	2019年1月22日 ~2019年2月20日	2019年2月21日 ~2019年3月20日
当期分配金（税引前）	30円	30円	30円	30円	30円	30円
対基準価額比率	0.449%	0.437%	0.445%	0.456%	0.450%	0.450%
当期の収益	15円	20円	14円	14円	19円	15円
当期の収益以外	15円	9円	15円	15円	11円	15円
翌期繰越分配対象額	432円	422円	407円	392円	381円	367円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

当ファンドの運用方針に従い、オセアニア公社債マザーファンドの組入比率を高位に維持します。

### ●オセアニア公社債マザーファンド

米中の通商問題や地政学リスクの高まりを背景に世界景気が調整色を強める中、今後は経済面や金融面で更なるショックに直面する可能性があると考えられることから、今後はオーストラリアとニュージーランドともに中央銀行による金融緩和スタンスが強まると予想されます。このため、オセアニアの国債利回りには低下圧力がかかると考えます。

為替については、市場のリスク回避姿勢が続くと予想される中、オセアニア通貨は対円では上値が抑えられると考えます。

ファンド全体のデュレーションは、1年から3年程度の中で長めを基本とします。債券種別組入比率は、国債に対して州債などの非国債の比率を現状同様に高めとする構成を基本とし、通貨別組入比率は、豪ドル建て資産に対するニュージーランドドル建て資産の比率を現状同様に維持することを基本とします。

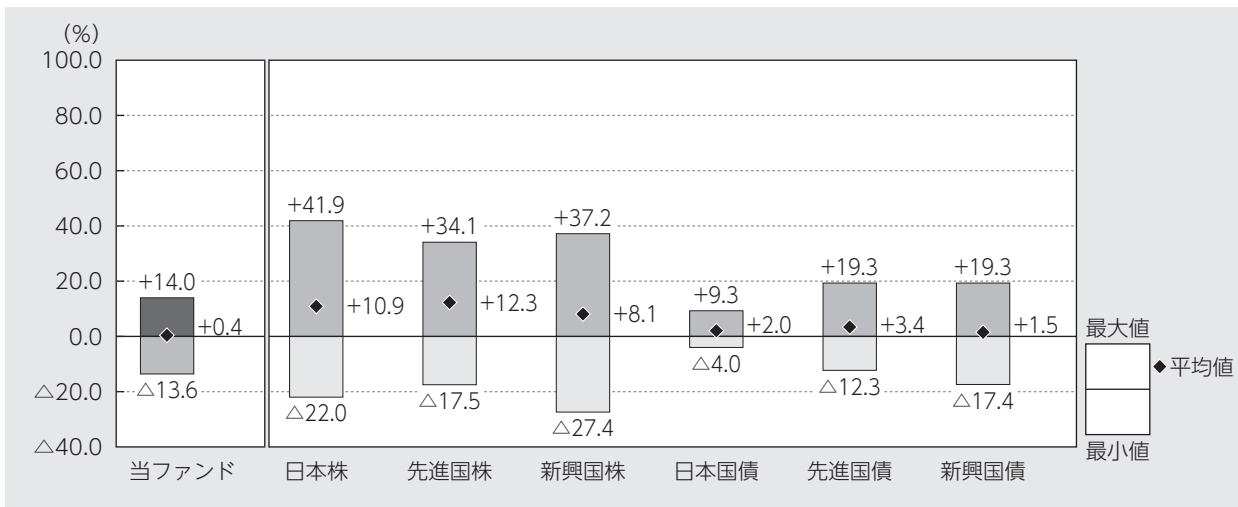
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年10月12日から2021年9月20日までです。 なお、クローズド期間はありません。	
運用方針	オーストラリアおよびニュージーランドの公社債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	みずほオセアニア債券ファンド	オセアニア公社債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	オセアニア公社債マザーファンド	オーストラリアおよびニュージーランドの公社債を主要投資対象とします。
運用方法	公社債の組入比率は、原則として高位を維持します。 ファンド全体の平均デュレーションは、1年～3年程度とすることを基本とし、機動的に調整します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
分配方針	第9期以降の每期、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、原則として安定した収益分配を継続的に行うことを目指し、配当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案し、委託会社が決定します。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用しています。（ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてペビエーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。）



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年3月～2019年2月

(注1) 上記のグラフは2014年3月から2019年2月の5年間における1年騰落率（毎月末時点における期間1年間の騰落率を5年（60ヵ月）分取得したデータ）の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。（グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。）なお、上記騰落率は直近の月末から60ヵ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算していますので、基準価額をもとに計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2019年3月20日現在）

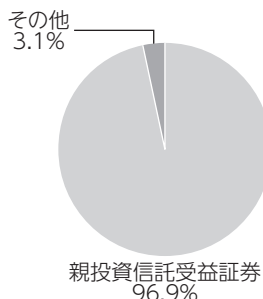
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

	第90期末
	2019年3月20日
オセアニア公社債マザーファンド	96.9%

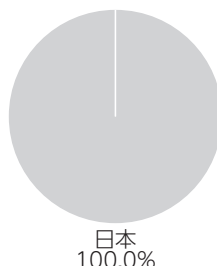
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

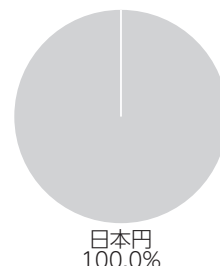
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。

(注2) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

### 純資産等

項目	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末	第90期末
	2018年10月22日	2018年11月20日	2018年12月20日	2019年1月21日	2019年2月20日	2019年3月20日
純資産総額	1,567,066,665円	1,577,163,884円	1,503,785,097円	1,447,407,841円	1,467,234,311円	1,455,190,881円
受益権総口数	2,356,763,291口	2,305,805,647口	2,239,105,677口	2,210,790,329口	2,208,730,201口	2,192,615,971口
1万口当たり基準価額	6,649円	6,840円	6,716円	6,547円	6,643円	6,637円

(注) 当作成期間（第85期～第90期）における追加設定元本額は20,359,916円、同解約元本額は272,611,149円です。

## 組入ファンドの概要

【オセアニア公社債マザーファンド】（計算期間 2017年9月21日～2018年9月20日）

### ◆基準価額の推移



### ◆1万口当たりの費用明細

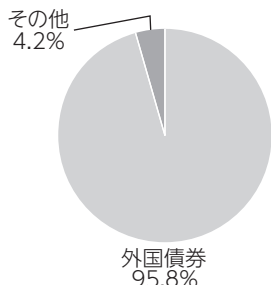
項目	(2017年9月21日～2018年9月20日)	
	金額(円)	比率(%)
平均基準価額	14,526	-
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	4 (4) (0)	0.029 (0.028) (0.001)
合計	4	0.029

### ◆組入上位銘柄

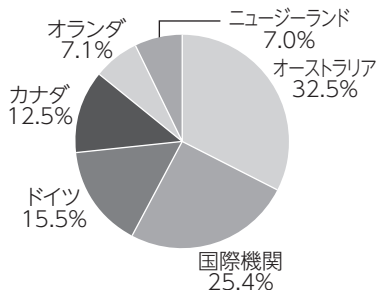
(組入銘柄数：16銘柄)

順位	銘柄	種別	通貨	利率	償還日	比率
1	QUEENSLAND TREASURY CORP	地方債	オーストラリアドル	6.250%	2020/02/21	13.4%
2	LANDWIRTSCHAFTLICHE RENTENBANK	特殊債 (金融債以外)	ニュージーランドドル	3.625	2022/02/08	11.7
3	INTERNATIONAL BANK FOR RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債 (金融債以外)	ニュージーランドドル	3.500	2021/01/22	10.7
4	ONTARIO OF PROVINCE CANADA	地方債	オーストラリアドル	6.250	2020/09/29	6.9
5	AUSTRALIA	国債	オーストラリアドル	1.750	2020/11/21	6.9
6	WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP	地方債	オーストラリアドル	2.500	2020/07/22	5.7
7	NEW SOUTH WALES TREASURY CORP	地方債	オーストラリアドル	6.000	2020/05/01	5.2
8	PROVINCE OF MANITOBA CANADA	地方債	オーストラリアドル	3.600	2027/08/17	5.1
9	NEDERLANDSE WATERSCHAPSBANK NV	特殊債 (金融債以外)	オーストラリアドル	3.150	2026/09/02	4.9
10	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債 (金融債以外)	ニュージーランドドル	3.500	2021/05/15	4.6

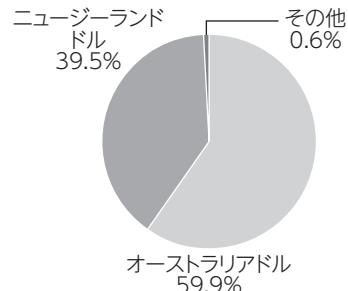
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は当マザーファンドの直近の計算期間末のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は当マザーファンドの直近の決算期のもので、費用の項目の概要については2頁をご参照ください。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。

(注4) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

## ＜当ファンドの参考指数について＞

### ●FTSE世界国債1－3年インデックス（オーストラリア）（円ベース）

「FTSE世界国債1－3年インデックス（オーストラリア）（円ベース）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、満期が1から3年までのオーストラリアが発行した国債で構成されているFTSE世界国債インデックスのサブインデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

## ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA－BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI－EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。